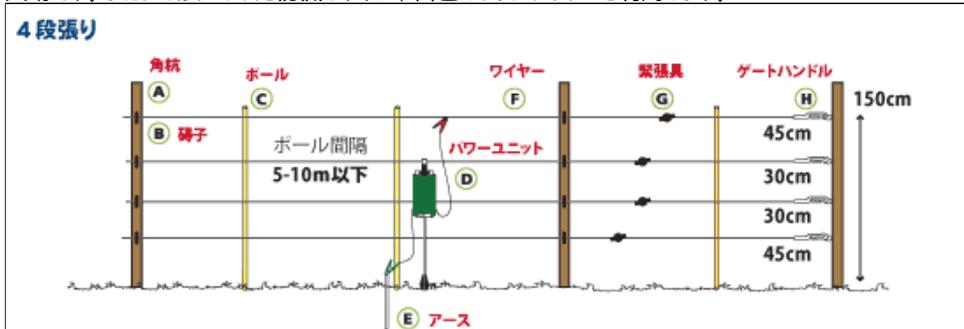


[トップページ](#) > シカ防除用電気柵・防除柵



シカ対策 ～電気柵～

跳躍力の高いシカですが、電気柵は心理柵なので1.5mの高さで防除できます。ただし、フェンスの下や隙間を見つけてくり侵入する事例が多いので、地面の凹凸にあわせて施工し、ワイヤーの高さを一定に保つことが大切です。またシカがフェンスを認識しやすい、白色のリボンワイヤーを利用します。



イラストの部品をクリックすると、部品のページにジャンプします

A: 角杭

出入り口や曲がり角、地面の凹凸のある場所に使ってフェンスを支えます。力がかかる場所なので、ある程度しっかりした垂木や絶縁木インサルトンバー、Y型ポストなどを使います。垂木を使った場合はリング碇子などを取り付けて絶縁してください。

B: 碇子

垂木などにワイヤーを取り付ける際に使います。ガラガーのパワーユニットはパワーが強いのので、確実に絶縁するためにプラスチックの肥料袋などは使わず、専用の碇子をお使いください。

C: ポール

ワイヤーを支えるためのポールで、シカには段数や高さが自由に調節できるグラファイボールがおすすめです。平坦でまっすぐワイヤーを張る場合は10型で十分ですが、少し曲がりがあったり、地面が凸凹しているような場所では12型のほうがしっかり張れます。

D: パワーユニット(電牧器)

ワイヤーに電気を流すための機械です。高電圧の電気を流して、触れた動物にショックを与えます。このショックは静電気のようなもので、動物に怪我をさせたりするようなことはありません。乾電池式、バッテリー式、100V電源式など様々な機種があります。バッテリー式は電源の無い場所でもソーラーパネルによる発電を利用して作動させることができます。

E: アース

パワーユニットが流す電気をひろい、電気的な回路を完成させる役目を果たします。パワーユニットがその性能を発揮するには、十分なアースが設置されている必要があります。

F: ワイヤー

獣害対策に電気柵を使う場合、野生動物が最も認識しやすい白色のワイヤーを使います。シカには夕暮れ時でも良く目立つリボンワイヤーが効果あります。いつも強い風が吹くような場所では、丸型の太いワイヤー、ビッグホワイトワイヤー・ネオが良いでしょう。

G: 緊張具

きつワイヤーを張っても距離が長いほどワイヤーはたるんでしまうもの。そんな状態を解消するために100mに1箇所程度の割合で緊張具を使います。通常ポリタイプのワイヤーを使うので、簡易緊張具を使います。

H: ハンドル

出入り口に使用します。高電圧を流しているワイヤーを結ぶのですから、しっかりしたハンドルを選びたいもの。ガラガーのハンドルは高電圧に耐え、劣化を防ぐしっかりとした作りになっており、安心してお使いいただけます。専用の部品を組み合わせたゲートセットも取り揃えています。

動物別の仕様

イノシシ

シカ

北海道にて、エゾシカに対するガラガー防除電気柵の実証試験を行いました。シカは跳躍力が高く、通常1.5mくらいの高さは軽く飛び越えると言われていました。そのため地形に応じてフェンスを施工し、設置する場所にも十分注意することが必要です。シカの食性は広いですが、それほど繁殖力の高い動物ではありません。特に冬季の餌を確保させないことが、個体数のコントロールにつながります。

クマ

サル

アライグマ・ハクビシン

フェンスの部品

パワーユニット

テスター

杭・支柱

碇子

ワイヤー

接続金具

緊張具

リール

その他電気柵部品

ゲート

ネットフェンス

フェンスの種類

電気柵(恒久式)

電気柵(簡易式)

ネットフェンス

【エゾシカのガラガー電気柵に対する反応】



動物は臭いをかいだり、ちょっと触って確かめます。そのうちにビリッと来て・・・



触ってしまいました！とても驚いたのが前脚がハの字になっています。



急いで向きを変え、



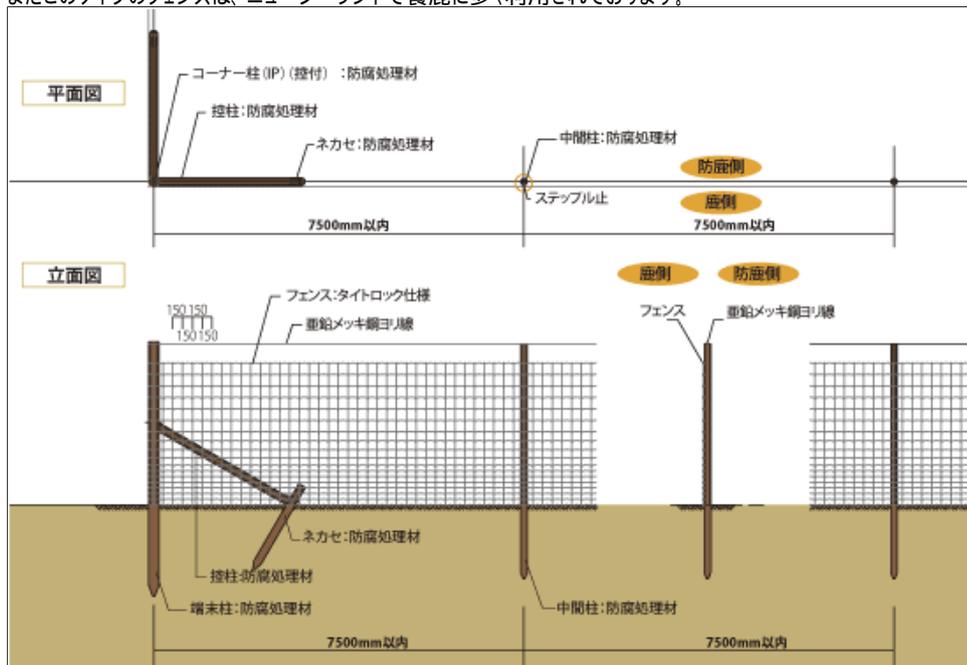
走って逃げ出します。ちなみに電気柵に触っても怪我はしません。

かなり大きな電気ショックが走りますので、電気柵には直接さわらないようにしてください。



シカ対策 ～広域用防除柵～

集落を広域的にフェンスで囲い、地域ごとに被害を防除します。すでに北海道では道東方面を中心に、このような恒久タイプのフェンスで地域ぐるみの対策が行われています。1995年からの累積では約2000kmものフェンスが北海道内に設置されています。私たちが防除柵に使用するフィールドフェンスは、世界で最初にシカ用のフェンスを作ったメーカーのタイトロック式フェンスです。またこのタイプのフェンスは、ニュージーランドで養鹿に多く利用されております。



市町村単位で設置をご検討される方には、経験豊かな事業担当者が対応させていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。シカを防ぐ電気柵や防除柵について、お見積もりをご希望される方はこちらのシートをお使いください。
[お見積り依頼シート](#): PDF 63KB

[ページの上へ](#)

東京本社 東京都品川区東五反田 1 丁目 19-2 電話: (03) 3449-3711 FAX: (03) 3443-5811 mail: email@surge-m.co.jp
 札幌営業所 北海道石狩郡当別町字東裏 1338-10 電話: (0133) 25-2222 FAX: (0133) 25-2255 mail: sapporo@surge-m.co.jp

当ホームページに掲載している情報・画像等を、許可なく複製、転用販売等の二次利用を行うことは禁止します。
 このホームページはサージミヤワキ (株) 札幌営業所が管理をしています。